

平成 19 年 12 月 20 日

平成 20 年度食品健康影響評価技術研究の研究領域の候補について

平成 19 年 12 月 17 日に開催された食品健康影響評価技術研究運営委員会第 18 回
会合において、以下の 4 領域の候補が選定されましたので報告します。

I 化学物質系研究領域

○ 食品中の化学物質等の健康影響評価手法に関する研究領域

食品中の化学物質等の健康影響評価の効率的・効果的な実施に資するものであ
って、以下のような研究成果が期待できるものであること。

- ① 乳幼児における化学物質の発達障害に及ぼす健康影響評価手法の開発
- ② 鉛などの有害金属の低濃度曝露による健康影響評価手法の開発
- ③ 食品中の化学物質の曝露による新たな健康影響評価指標及び統計技法を活用し
た定量的評価手法の高度化

II 生物系研究領域

○ 食品に起因する有害微生物等のリスク評価法に関する研究領域

食品に起因する有害微生物等の健康影響評価の効率的・効果的な実施に資するもの
であって、以下のような研究成果が期待できるものであること。

- ① 定量的解析手法を考慮しつつ、食品中の有害微生物等の挙動解析・変動要因解
析等による動態予測に基づいた健康影響評価手法の開発
- ② 有害微生物等の食品を介した感染機序に関する研究に基づいた健康影響評価手
法の開発
- ③ かび毒及び自然毒の生体作用を考慮した健康影響評価手法の開発

III 新食品等研究領域

○ 新開発食品等の健康影響評価手法に関する研究領域

遺伝子組換え技術、ナノテクノロジー、物理的特性の付加技術等を用いて製造され
た食品中に含まれる成分の生体への影響又は新開発食品等の医薬品等との相互作用
等を考慮した健康影響評価手法の開発に資するものであること。

IV リスクコミュニケーション研究領域

○ リスクコミュニケーションの推進に関する研究領域

リスクコミュニケーションの検証手法、又はリスク認知に影響を及ぼす要因の解析
手法の開発に資するものであること。